

鼓阪地域学校規模適正化検討協議会 第2回

1. 日 時：令和6年3月27日（水）18：00～20：00

2. 場 所：若草公民館

3. 参加者：委員 出席9名 欠席2名 事務局2名

奈良市教育委員会事務局から6名出席

4. 内 容

・学校選択制を導入すると、対象地域では子どもや保護者の人間関係が分断され、町の組織や地域活動が弱体化するおそれがある。町単位の自治会ごとに了解を得て丁寧に進めていく必要がある。（教育委員会事務局）

→進級や通学路の状況によって通学校を変更できる、鼓阪北小学校の児童もスクールバスを利用して佐保小学校に通える、など臨機応変な対応を検討してほしい。（検討協議会）

→今回はあくまで、鼓阪小学校区内の見直しを検討する。鼓阪北小学校区内での学校選択制は、今のところ、考えていない。（教育委員会事務局）

・通学距離が2キロ以上の児童については、ワゴン車タイプのスクールバス3台で送迎をさせていただく。対象エリアは東之阪町、般若寺町、川上町、飯守町、雑司町等とし、木津横田線の東側、西側、雑司町から川上東町のあたりの計3か所を乗降場所として検討している。（教育委員会事務局）

・小学校が廃止された後の地域活性化や通学の安全が保障されない中で統廃合を進めるのは、保護者として賛成できない。10年ほど前、地域として地域活性化策を示していたにも関わらず、その議論を飛ばして統廃合が進められようとしている。（検討協議会）

→通学路の安全については、令和6年度と令和7年度の2か年で合同点検を実施させていただき、ご意見をいただきながら、対策を講じていく。鼓阪小学校区においては今後もどんどん人数が減っていく見込みであり、教育環境を維持するためには早く手を打たないといけない。教育委員会としても、地域の方と地域活性化についての協議が進むよう、市長部局に働きかけている。（教育委員会事務局）

・少人数だからこそできることもあり、どちらが良いというわけではないが、学校としては多様な意見、考えに触れられる教育環境を与えてあげたい。統廃合する方向での協議をお願いしたい。（校長）

・クラス替えがあると、人間関係を作って仲間になっていくという経験を子どものうちにできる。人間関係が悪化した時にリセットすることもできる。（教育委員会事務局）

・校舎建替えの予算も議決されたので、通学路の安全確保や地域活性化策については新しい学校のための議論と同時並行で進めればよい。佐保地区との合同協議を進める必要がある。（検討協議会）

→佐保地区でも、校歌や校章、通学路の安全対策、地域の見守り体制等について鼓阪地区としっかり協議して進めたいと考えておられる。令和6年度中の早い時期に一度、機会を持っていただきたい。（教育委員会事務局）

次回の検討協議会 4月25日を予定